

みんなで作ろう！文字とemoji

世界中に
いろんな種類がある = 書体(フォント)
文字のカタチ

アルファベットなど欧文フォントは、数十万種類あるらしい!!!
アマチュアからプロまで、たくさんの人たちが日々作り出しているよ。
文字のヒミツを学んだり、マンガの技法を使って表現したり、
みんなでオリジナルの「文字と絵文字」を発明しよう！
完成したオリジナルフォントは、パソコンでも使えるように仕上げて、
後日、参加してくれた皆さんにお渡します！

emojiの先生 西武アキラ 文字の先生 松本朋也
LET'S MAKE YOUR FONT みんなで作ろう！文字とemoji LET'S MAKE YOUR FONT みんなで作ろう！文字とemoji LET'S MAKE YOUR FONT みんなで作ろう！文字とemoji LET'S MAKE YOUR FONT

2026年
2月28日(土) アルファベット編

じかん 13:00～15:00頃まで
ばしょ サイボウズ松山オフィス
松山市二番町3-7-12 QUALITA MATSUYAMA 3階

参加費:ひとり1,000円
定員:20人程度 ※要申込み
対象:小学3年生～中学3年生まで
子どもゆめ基金助成活動

主催:ツインクル・プラン 後援:松山市、松山市教育委員会

みんなで作ろう！文字と 絵文字

主なプログラム内容

- 文字やフォントについてのお話し
- ワークショップ
 - みんなで相談してアルファベットを選ぼう
 - A→Zのオリジナル文字を1つずつ分担して考えよう
 - スケッチができたら文字としてプラッシュアップさせよう
- オリジナルフォントが完成！
 - みんなでチェックして全体を仕上げよう
 - 実際に手で書いてフォントを使ってみよう！



emojiの先生

西武 アキラ akira nisitake

美術家、実験漫画家、イラストレーター

1980年愛媛県松山市生まれ。マンガの仕組みを使って絵画・アニメーション・書体デザイン・陶芸など媒体や分野を横断して、国内外で活動している。近年は東アジアのブックフェアを中心に展開。2019年には国際タイポグラフィービエンナーレ Typojanchi 2019(ソウル)、ソウル、台北、上海、クラルンプール、シンガポール等のアートブックフェアに参加。またマンガグループCHOJIN CLUBを主催し、ZINEの発行や展覧会を企画。2024年には愛媛県美術館のコレクションとコラボレーションした陶器の本のインスタレーションも発表。

イラストレーターとしては妖怪やオリジナルキャラクター TONGOのグッズ等の制作も多数。2022年ポプラ社より『いえのなかのぼやき妖怪ずかん』を刊行。

<http://akira-nishitake.com>



文字の先生

松本 朋也 tomoya matsumoto

デザイナー / タイプフェイスデザイナー / フロントエンドエンジニア

1979年愛媛県松山市生まれ。九州産業大学芸術学部デザイン学科卒業後、福岡の制作会社にてサインデザインに従事。その後東京へ拠点を移し、企業の規模を問わず数多くのウェブサイトやグラフィックデザイン制作に携わる。2019年に松朋デザイン合同会社を松山にて設立。現在はシンボルマークやタイプフェイスのデザインを主軸に活動するほか、2022年より書体に関するワークショップやセミナーも定期的に開催している。また、近年は「AIとクリエイティブ」をテーマに掲げ、松山大学をはじめとする教育機関や企業に対し、AI導入支援やワークショップを県内外で精力的に行っている。日本タイポグラフィ年鑑 2023・2026 入選 NPO法人日本タイポグラフィ協会正会員

<https://note.com/matsunlog>



みんなで完成させたフォントで作成(2022年度)



thank you!
アリガトウ



【お申込み方法】

入力フォームよりお申みください。

<https://forms.gle/z8doYMjvvE7sFz4NA>

URLまたはQRコードより、入力フォームをご確認ください。希望の開催日、参加者のお名前(フリガナ)と年齢、学年、〒住所、連絡先(携帯電話)、メールアドレスなどの必要事項を入力の上、送信してください。受付後、こちらからの返信をもって申込み完了となります。

※ケータイアドレスからのお申込みの場合は、メール受信設定をご確認の上、お申みくださいますようお願いいたします。

お申込み

twinkle plan

ツインクル・プラン

twinkleplan.info@gmail.com

問合せ 090-9556-3139 (入江)

この活動では、団体広報や子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。撮影した写真や映像等は、広報用にHPやSNS、刊行物に使用することがあります。なお、子どもゆめ基金へ報告用に提出した個人情報(写真)は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

National Institute For Youth Education
国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

